

Title	デジタルカメラ市場の一考察：市場の動向とスマートフォンの破壊的イノベーション
Author(s)	今野，健一
Citation	年次学術大会講演要旨集，30：457-460
Issue Date	2015-10-10
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/13316
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	一般講演要旨

デジタルカメラ市場の一考察

—市場の動向とスマートフォンの破壊的イノベーション—

今野 健一（SKN コンサルティング）

1. はじめに

デジタルスチルカメラは、コンパクトデジタルカメラ、ミラーレスカメラ、デジタル一眼レフカメラ、交換レンズ（35mm、35mm 未満）に分類されている。本研究は、デジタルスチルカメラの市場の動向と分析、企業のポジショニングについて考察を行ったものである。

2. デジタルスチルカメラ市場の分析

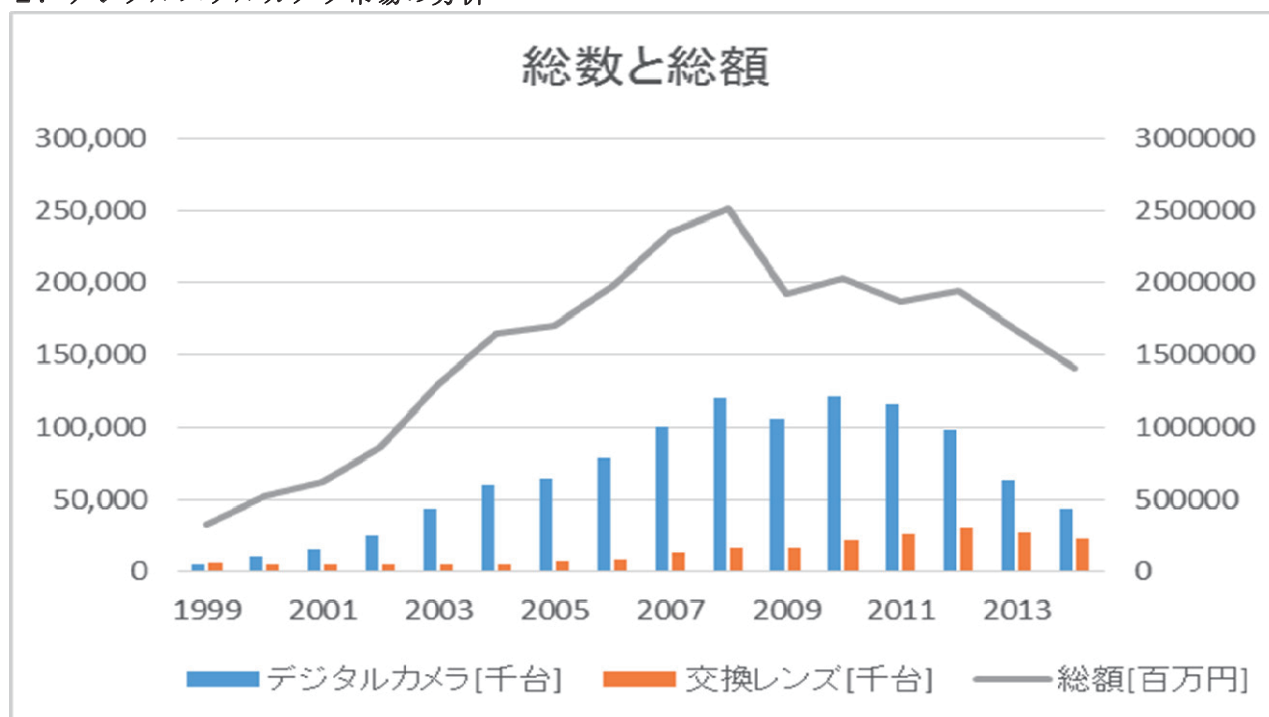


図1 デジタルカメラの総数と総額

デジタルカメラの総出荷台数は、2010年度1億2,146万台をピークに減少。交換レンズの総出荷台数は、2012年度3,037万台をピークに減少。デジタルカメラの総出荷額は、2008年度2兆1,640億円をピークに減少。交換レンズの総出荷額は、2013年度5,042億円をピークに減少。デジタルカメラの市場は縮小へ転じた。

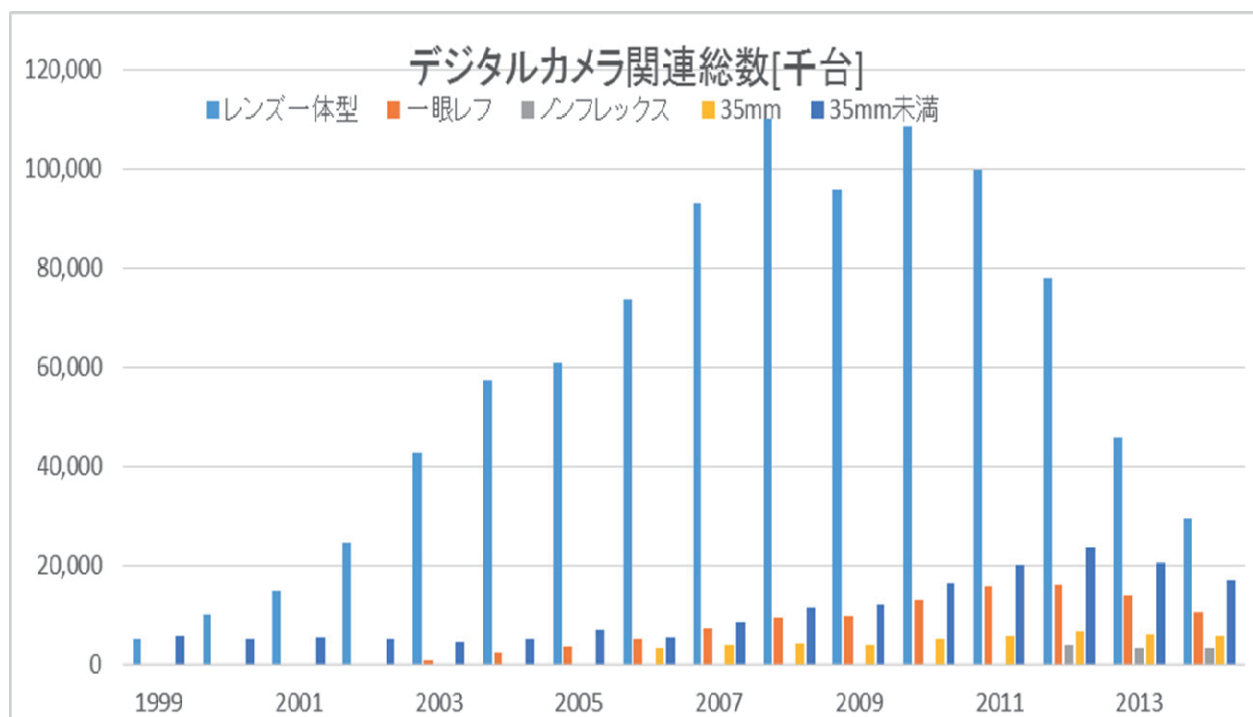


図2 デジタルカメラ関連総数

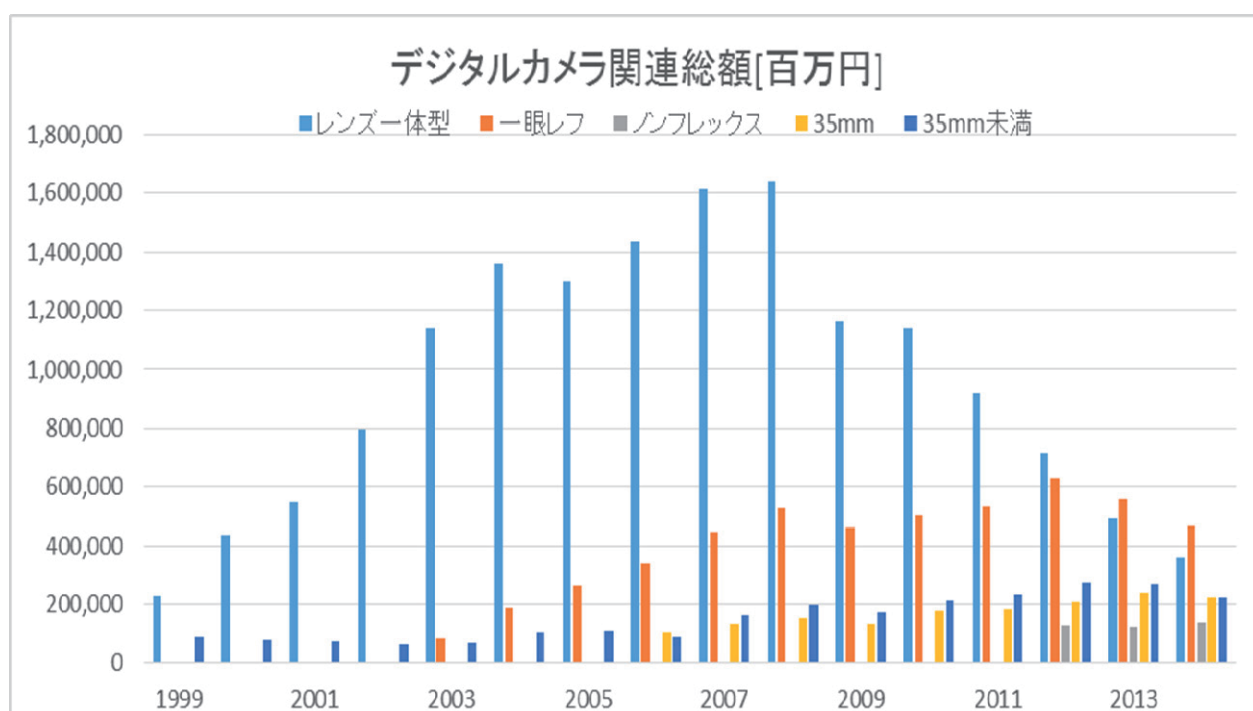


図3 デジタルカメラ関連総額

レンズ一体型カメラ（コンパクトデジタルカメラ）の総出荷台数は、2008年度1億1,007万台をピークに減少、2014年度2,960万台。デジタル一眼レフカメラの総出荷台数は、2012年度1,620万台をピークに減少、2014年度1,055万台。ノンフлексカメラ（ミラーレスカメラ）の総出荷台数は、2012年度396万台をピークに減少、2014年度329万台。交換レンズ35mmの総出荷台数は、2012年度663万台をピークに減少、2014年度は、586万台。交換レンズ35mm未満の総出荷台数は、2012年度2,374万台をピークに減少、2014年度1707万台。デジタルカメラ関連の総数は減少した。

レンズ一体型カメラ（コンパクトデジタルカメラ）の総出荷額は、2008 年度 1 兆 6,387 億円をピークに減少、2014 年度 3,592 億円。デジタル一眼レフカメラの総出荷額は、2012 年度 6,279 億円をピークに減少、2014 年度 4,682 億円。ノンフレックスカメラ（ミラーレスカメラ）の総出荷額は、2014 年度 1,371 億円と増加。交換レンズ 35mm の総出荷額は、2013 年度 2,356 億円をピークに減少、2014 年度 2,248 億円。交換レンズ 35mm 未満の総出荷額は、2012 年度 2,738 億円をピークに減少、2014 年度 2,235 億円。

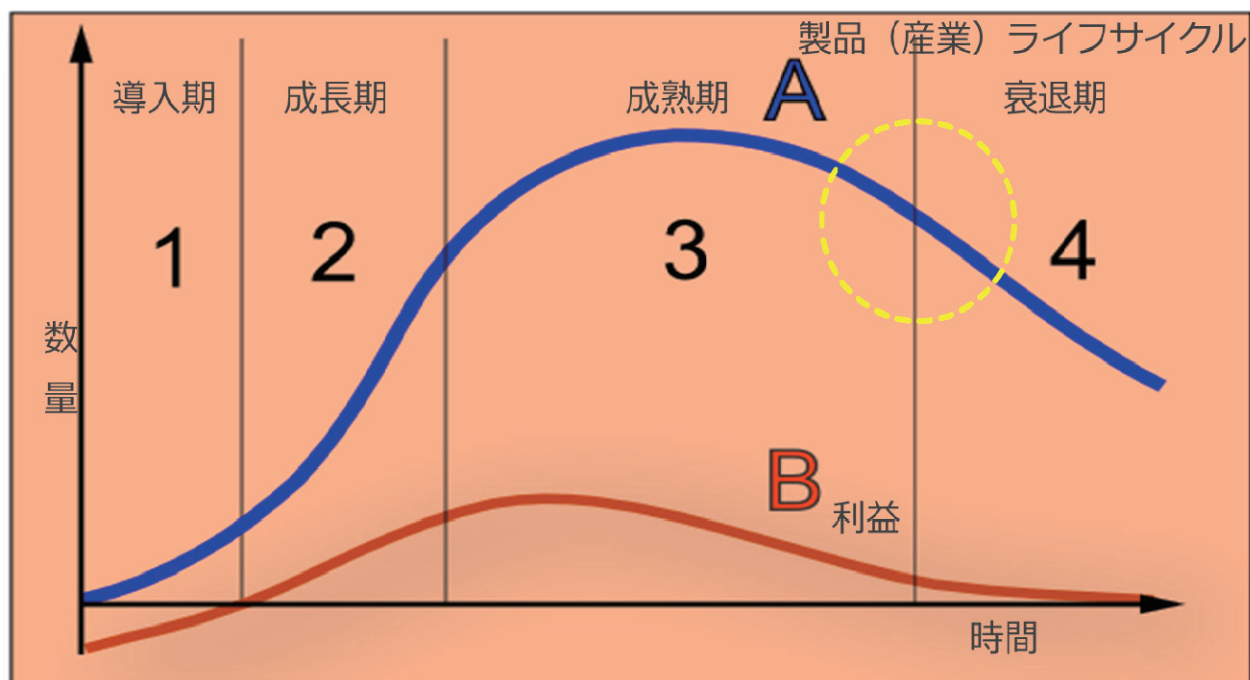


図4 製品（産業）ライフサイクル

デジタルカメラ市場は、成長期（多数の企業が参入。価格競争が生じる。）、成熟期（競争に敗れた企業が撤退。）、衰退期（数量、金額、利益が縮小。製品だけでなく、産業が縮小する。）に差し掛かっている。

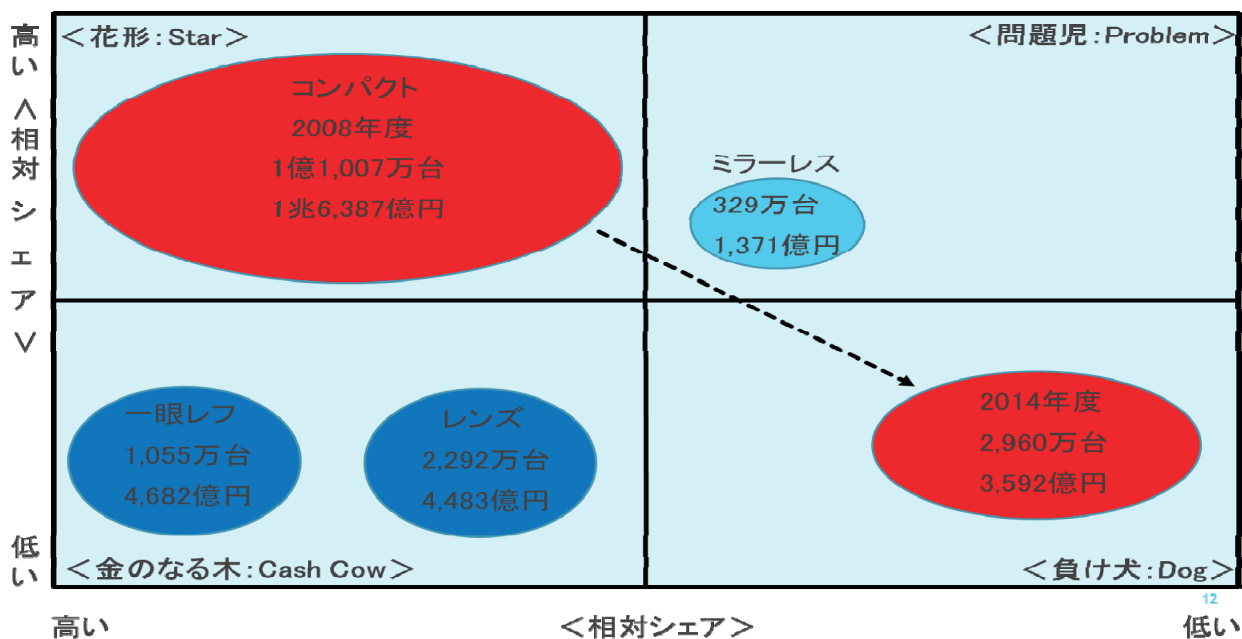


図5 デジタルカメラの PPM

コンパクトデジタルカメラ市場は、2008 年度 1 億 1,007 万台、1 兆 6,387 億円から、2014 年度 2,960 万台、3,592 億円まで市場が縮小。花形市場から負け犬市場へと転じた。

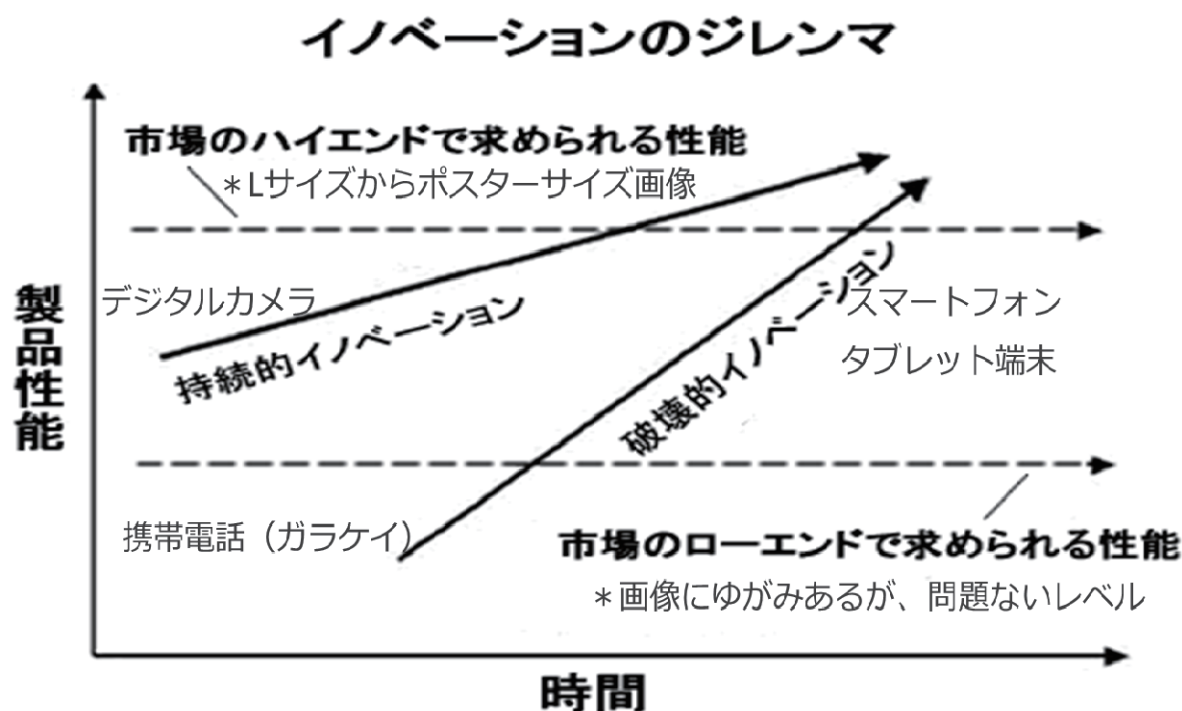


図6 イノベーションのジレンマ

デジタルカメラが持続的イノベーションをしている間に、スマートフォン、タブレット端末が、破壊的イノベーションを起こした。破壊的イノベーションの加速は、撮像素子の高画素、画像技術、フォト・アプリソフト、SNS サービスの普及などが要因。

3. 結論と考察

デジタルカメラの総出荷台数は、2010 年度 1 億 2,146 万台をピークに減少。2014 年度 4,343 万台、ピーク時の 36%に縮小。交換レンズの総出荷台数は、2012 年度 3,037 万台をピークに減少。2014 年度 2,293 万台、ピーク時の 76%に縮小。デジタルカメラの総出荷額は、2008 年度 2 兆 1,640 億円をピークに減少。

2014 年度 9,645 億円、ピーク時の 45%に減少。交換レンズの総出荷額は、2013 年度 5,042 億円をピークに減少。2014 年度 4,483 億円、ピーク時の 89%に減少。デジタルカメラ関連の総額は、ピーク時 2 兆 6,682 億円から 1 兆 4,128 億円へ減少。

デジタルカメラ市場の成長は、パソコン、インターネットの普及と共に普及した。しかし、スマートフォンの破壊的イノベーションによって、代替が進行した結果、デジタルカメラ市場は、縮小した。

【参考文献】

- [1] 「統計データ(1999 年度～2014 年度)」 カメラ映像機器工業会(CIPA)
- [2] 「製品戦略マネジメントの構築」 伊藤宗彦著 有斐閣 (2004 年 5 月)
- [3] 「戦略づくりの七つ道具」 若林広二著 中央経済社 (2004 年 5 月)